

長期研修プログラム

カナダ (第43回)

ランガラ・カレッジ

黒川 准々 国際学部 国際学科 3年

新潟県立新潟高等学校出身
2022.4 拓殖大学入学
2024.8 カナダ長期研修参加



ランガラカレッジ

大発見

【研修先の紹介】

ランガラカレッジのあるカナダのブリティッシュ・コロンビア州は、自然がとても豊かだという印象を受けました。ダウンタウンのイングリッシュベイと呼ばれる海辺では綺麗な日没が見られたり、ノースバンクーバーではダムや橋から壮大な景色を楽しむことができます。自然を楽しむことができるアクティビティに加えて、ビリヤードやダーツ・カラオケ・トランポリンなどといった娯楽も楽しむことができます。実際に足を運び、世界的な移民大国と言われる理由を改めて身に染みて実感することができました。次に、ランガラカレッジについてです。ランガラカレッジは、1965年に Vancouver Community College として設立し、1994年に正式に公立カレッジとして独立したカナダ・ブリティッシュコロンビア州の大学で、Langara-49th Avenue 駅の近くに位置しています。そして、現在では100以上の国から集まった留学生を含む約2万3,000人の生徒が在籍しており、留学生のための（LEAP）プログラムに加えて、アート・医療・IT・ビジネスなどの豊富なプログラムや UBC などの名門大学への編入制度を受けることができます。大学内の教室は、10人～20人といった少人数想定から80人以上程の大人数想定まで設備されており、カフェテリアではティムホートンやピザ売り場、ミニコンビニが配置され、また多くの人が利用できるための大きなスペースが設置されています。また、図書館内は階数が高くなるごとに静けさのレベルが上がっていき、一人で集中したい時・グループワークをしたい時といった、その時の気分や状況によって階数を選択することができます。一人一人が勉強に集中しやすい万全の環境が整っていると感じました。

【日常生活について】

LEAPプログラムでは重い課題がよく多く出てくるので、放課後は友人と図書館で協力したり、同じプレゼンのパートナーとプレゼンテーションに向けての練習を行いました。一方で、課題に余裕のある日は、買い物へ出かけたり、近くの公園や体育館でスポーツなどのアクティビティを楽しみました。大き



旅行

な連休を迎えた時は、友人たちと一緒にトロント、ケベック、モントリオール、バンフ、イエローナイフ、ヴィクトリアなど多くの観光地へ足を運びました。それぞれの観光地によって、使われる主言語や気温、街並みに違いが見られてとても面白い、貴重な経験をすることができました。

【研修を通して得たこと、その成果を今後の

学生生活や社会へどのように還元するか、について】

研修を通して、自分で気づくことができていなかった多くの発見があったのではないかと、現在実感しています。研修前の自分は、人と話すことに少し躊躇してしまう気持ちがあり、また物事への積極性が著しく低かったため、留学へと飛び立つ前にあらかじめ「一日一度は外出する」という目標を立てました。その結果、カナダでの長期研修を通して、以前よりも人とコミュニケーションを取ることに躊躇する気持ちが無くなり、何かやってみようという物事への好奇心を高めることができました。また、留学経験させていただく以前は、自分のやりたい仕事の幅がとても狭かったのですが、ホストファミリーや友人などと将来への話を交わす機会を多く持つことができたおかげで、現在では英語に関連した様々な方向性の仕事を見つけることができました。今後、就職活動を行っていく中で、上記にも記載した人・物事への「積極性」と培った英語能力を自分の魅力の一つとしてアピールし、最終的には海外の方々が安心して日本の生活を過ごすことができるようなサービスを提供することができる仕事に就くことで社会に還元したいと考えています。



修了式